



外務省
Ministry of Foreign Affairs
of JAPAN

令和4年度外務省委託

平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業

The Program for Global Human Resource Development for Peacebuilding and Development



海外派遣中の国連世界食糧計画(WFP)
ケニアでの勤務の様子

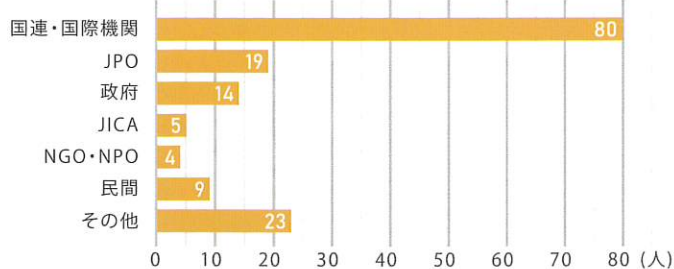
参加者募集中!

平和構築・開発のプロを養成します

広島平和構築人材育成センター(HPC)は外務省の委託を受けて「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業」を運営している一般社団法人です。「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業」は、令和4年度(2022年度)に実施するプライマリー・コース、ミッドキャリア・コースの2つの研修コースについて募集を行います。

プライマリー・コース日本人修了生の半数以上*がJPOを含む多様な形で国連・国際機関のポストに就いています。

プライマリー・コース日本人修了生の現在の職業



国連開発計画(UNDP)、国連児童基金(UNICEF)、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)、国連世界食糧計画(WFP)、国際移住機関(IOM)を含め36の国連・国際機関で働いています。

*平成19年度～令和元年度までの修了生193名のデータより算出
*国連ボランティア(海外派遣終了後)含む(令和4年3月時点)



プライマリー・コース国内研修の様子(令和元年度|2019年度)



令和4年度外務省委託事業
平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業
広島平和構築人材育成センター
Hiroshima Peacebuilders Center (HPC)

<広島本部事務所> 〒730-0053 広島県広島市中区東千田町1-1-61 ナレッジスクエア1F

TEL 082-909-2631 FAX 082-553-0910

【応募書類提出用】application@peacebuilders.jp

【お問い合わせ用】hpc@peacebuilders.jp

プライマリー・コース

PRIMARY COURSE

身につくのは、知識、実践、自信、そして人の輪

「プライマリー・コース」は、平和構築・開発分野でのキャリアを構築する強い意志を持った日本及び各国の研修員(日本人12名程度・外国人10名程度)を対象に、現場における実務能力を高めるための5週間の国内研修と、国際機関の現地事務所等で1年間の国連ボランティアとしての海外派遣(日本人研修員のみ対象)を通じて現場で活躍する機会を提供するコースです。

国内研修 約5週間 / 2023年1月18日(水)～2月22日(水)

海外派遣 約1年間 2023年3月以降

※実際の派遣日数は、受け入れ機関との調整、健康診断やビザ発給等手続き等によって異なり、派遣時期が2023年夏頃までずれ込む可能性もあります。

研修場所 東京及び広島、海外 参加費 297,916円

応募締切 2022年8月31日(水) 日本時間午前9時必着

ミッドキャリア・コース

MID-CAREER COURSE

平和構築・開発の現場における
キャリア構築のためのスキル・能力の深化と実践

「ミッドキャリア・コース」は、平和構築・開発に関連する諸分野(法律、行政、教育、保健・衛生、環境、後方支援(調達、IT、人事、航空管制、広報等を含む)等)で10年程度の実務経験を有する方々の国際機関を通じたキャリア発展を目的とし、国際機関における「Competencies(業務能力)」,特に「コミュニケーション/ネゴシエーション」、「リーダーシップ/マネジメント」に焦点を当て、ロールプレイ演習などを通じて応用力を強化していきます。参加者には、講師陣のフィードバックを基にさらなる個々人のパフォーマンスの向上を図り、またグループワークを通じた人的ネットワークの拡大・構築の機会を提供します。

研修期間 2023年1月5日(木)～11日(水) 研修場所 東京

参加費 無料 応募締切 2022年10月7日(金) 日本時間午前9時必着

※今後の新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の状況に応じ、適切な対策を最大限に請じながら研修事業運営を行います。感染の状況により研修の内容や日程が変更となる可能性があります。

詳しくはホームページへ

HPC 平和

<https://peacebuilderscenter.jp/>





外務省委託

平和構築・開発における グローバル人材育成事業

Global Peacebuilders Program

(外務省委託事業)

「プライマリー・コース」

令和4年度日本人研修員

募集要項

本事業は、平和構築・開発分野で活躍できる人材を発掘・育成し、キャリア構築を支援することを目的として、外務省が実施している人材育成事業です。外務省の委託を受けて広島平和構築人材育成センター（Hiroshima Peacebuilders Center: HPC）が、海外派遣を実施する国連ボランティア計画（United Nations Volunteers programme: UNV）と連携し、事業を運営しています。

「プライマリー・コース」は、国連・国際機関等を中心とする組織を通じて平和構築・開発分野でのキャリアを構築する強い意志を持った日本及び各国の研修員（日本人12名程度 外国人10名程度）を対象として、平和構築・開発の現場における実務能力を高めるための5週間の国内研修と、平和構築・開発の現場で活動する国連・国際機関の現地事務所等で1年間の海外派遣（日本人研修員のみ対象）の機会を提供するコースです。

このコースに参加する日本人研修員を次の要領で募集します。

1. 研修期間

＜国内研修＞：令和5年（2023年）1月18日（水）～2月22日（水）

＜海外派遣＞：令和5年（2023年）3月以降（1年間）

（実際の派遣日程は、マッチングの状況、受け入れ機関の意向、健康診断やビザ発給等の手続き等により各派遣案件によって異なり、派遣時期が令和5年（2023年）夏頃までずれ込む可能性もあります）

※令和4年10月下旬に最終合格者を対象としてオリエンテーション及び国連・国際機関駐日事務所の方々によるプレゼンテーションを行う予定です。（希望される方はオンラインにて参加可能です。）

2. 研修内容

＜国内研修＞：日本国内及び海外の講師・ファシリテーターによるワークショップ中心の平和構築・開発に関する研修（英語で実施）（別紙1-1 参照）

＜海外派遣＞：平和構築・開発の現場で活動する国連・国際機関の現地事務所等における国連ボランティアとしての実務（別紙1-2 参照）

※海外派遣中、研修員は、派遣先の事務所において、研修員としてではなく、国連ボランティアとして、他の国際機関の職員と同じように扱われる見込みです。

3. 研修場所

＜国内研修＞：東京都内及び広島市内研修施設等

＜海外派遣＞：UNV が主担当として、関係機関等との協議を通じて調整し、派遣先候補を収集します。研修員は、自身の専門性、資質、希望等を総合的に勘案し、派遣先候補の中から希望派遣先を決定します。最終的な派遣先の決定に際しては、派遣先である国連・国際機関等による審査を通過する必要があります。

※研修員はマッチングに関する相談を HPC もしくは国連・国際機関駐日事務所と行うことが出来ます（駐日事務所がない機関、及び、駐日事務所が相談窓口とならない機関については、調整の上別途相談先をお知らせします。その他、相談先についてご不明な点があれば個別にご照会下さい）。

なお、全世界の国連・国際機関事務所で COVID-19 対策のため広範にリモート勤務が導入されている現状が続く場合、UNV にリモート勤務措置が取られる可能性もあることはお含みおきください。

4. 研修参加費

297,916 円

※上記参加費は、選考の結果プライマリー・コースに参加されることとなった日本人研修員の方に納入いただきます。

※上記研修参加費は、理由の如何を問わず返還いたしません。

※国内研修期間中の宿泊や研修に必要な国内移動は HPC が手配します。

※海外派遣にかかる渡航や現地滞在にかかる手配は UNV を通じて行います（現地生活費の支給等を含む）。

なお、予防接種や健康診断の受診等に係る費用については、UNV より一定額が支給されますが、それを超えた場合は HPC にて補填します（金額上限あり）。また、海外派遣先によっては、複数の予防接種を受ける必要があり、HPC の補填金額上限を超えてかかった費用は個人でご負担いただきます。

5. 応募資格（以下のすべての要件を満たす者）

- （1）今後平和構築・開発分野（法律、行政、教育、保健・衛生、環境、後方支援（調達、IT、人事、メディア等を含む）等）において活躍する強い意志を有する者
- （2）平和構築・開発に関連する諸分野で2年以上の実務経験がある者（インターンやボランティア経験等も考慮します）
- （3）大学学部卒相当以上の学位を有する者
- （4）誕生日が1983年4月1日以降、1998年4月1日以前である者
- （5）日本国籍を有する者
- （6）TOEFL iBT 90 点、TOEIC 900 点、IELTS 6.5 点以上もしくはこれと同等の英語力を有する者
- （7）原則として国内研修・海外派遣に全て参加することができる者
- （8）研修への参加に支障がないことが想定できる者（合格者には、海外派遣開始までに UNV 基準にしたがって、健康診断・予防接種を受けていただき、海外派遣に支障があることが判明した場合は、海外派遣に参加出来ません）

※令和5年度「プライマリー・コース」より、国連ボランティアの資格要件の改正に伴い、日本人の応募資格は、最低年齢が現在の25歳から27歳へ、実務経験が現在の「2年以上」から「3年以上」へと変更される予定です。

6. 募集人数

12名程度

7. 応募書類

(1) 所定の申込書（ウェブサイトでダウンロード可）（別紙1-3 参照）

(2) 平和構築・開発分野における申請者自身の具体的なキャリアプランに関するエッセイ（英文 500 単語以内・様式任意）

(3) 語学力を証明するもの

応募締切日から過去 5 年以内に受験した TOEFL、TOEIC、IELTS 等の成績証明書又はスコアシート

（コピー可。提出できない場合には語学力を証明する推薦状を英文にて提出）

(4) 誓約書（ウェブサイトでダウンロード可）（別紙1-4 参照）

本募集要項に添付されている所定様式に必要事項を記入し、本人が署名して提出して下さい。

8. 応募方法

申込書に記入の上、原則として電子メールで下記の宛先に必要書類を提出してください。

application@peacebuilders.jp

ファックスを通じての提出については必要に応じて受け付けます。誓約書は署名が必要であるため、電子メールで提出する際には、署名の上、電子画像化して提出してください。また、顔写真についても電子画像化したものを受け付けます。誓約書のみファックスで送付していただいても構いません。

9. 応募締め切り

令和 4 年（2022 年）8 月 31 日（水）日本時間午前 9 時必着

10. 選考方法

書類選考では、平和構築・開発分野での実績と今後の当分野でのキャリアの展望、国連ボランティアとしての適性により判断します。書類選考通過者に対しては、英語によるオンライン面接を行う予定です（2022 年 10 月 4 日（火）、5 日（水）に実施予定）。また、面接の前に申込書 18. References に記載されている推薦者の方々へ所定の Reference Check Form を送付させていただきます。なお、Reference Check Form は英語でご記載ください。可否は本人への電子メール、電話、もしくは郵送等の通信手段によって、10 月中旬に通知します。

11. 応募書類提出先・問合せ先

〒730-0053 広島県広島市中区東千田町 1-1-61 ナレッジスクエア 1F

一般社団法人 広島平和構築人材育成センター

TEL: 082-909-2631 / Fax : 082-553-0910

Email : (応募書類提出用) application@peacebuilders.jp

: (問合せ用) hpc@peacebuilders.jp

Website : <https://peacebuilderscenter.jp/>

12. 研修員の身分

令和5年（2023年）1月18日（水）以降、研修中（国内・海外）の身分は、所属先の有無にかかわらず「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業研修員（Program Associate）」となります。

なお、海外派遣の期間中は、「国連ボランティア」の身分も持ち、UNVの規定（Conditions of Service）に基づいて任務を遂行していただきます。

1.3. 研修員の義務

誠実に研修を履行していただくと共に、研修期間中及び修了時には、報告書を提出していただきます。

また、海外派遣の期間中はUNVの規定（Conditions of Service）に従い、国連ボランティアとしての義務（UNVに対する報告書の提出等）を遂行していただきます。また、日本政府は、研修員の国内研修の実施に必要な費用の大部分に加え、海外派遣に必要な費用も負担しており、研修員には、国内研修及び海外派遣の任期を全うするとともに、海外派遣後、国連・国際機関における正規のポストの獲得を含め、平和構築・開発等の分野において活躍するよう努めていただきます。

研修修了後も、講師として本事業における人材育成に携わったり、後輩研修員の就職支援に協力していただいたりすることがあります。

1.4. 研修修了後の支援体制

内外の関係機関の協力のもと、就職に関する情報提供、修了生のネットワーク作りなど、研修修了者が平和構築・開発の現場で活躍するための支援が提供されます。

1.5. 研修実施における新型コロナウイルス感染症対策

今後の新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、適切な対策を最大限に講じながら国内研修を行います。状況により研修の内容、日程が変更となる可能性もあります。（締め切り前に変更が決定した場合には、追加的な案内を出す可能性もありますので、HPCメール配信サービスにご登録をお願いします。）

*HPCメール配信サービス: <https://peacebuilderscenter.jp/contact/email-newsletter/>

- （1）研修参加形態・・・事情により研修に実地参加できない場合にオンラインで代替措置をとる可能性や、体調不良者に実地参加を控えていただくなどの参加形態に関する諸措置をとります。
- （2）研修会場形態・・・3つの「密」（密閉・密集・密接）を避け、「新しい生活様式」ガイドラインに沿った研修会場の環境を保持し、移動の際の安全を確保するための諸措置をとります。
- （3）協力要請・・・未必の感染を予防するため、研修員に協力を要請して、手洗いや咳エチケットをはじめとする諸々の行動を励行する諸措置をとります。

1.6. その他の注意事項

- （1）国内研修中の日々の研修にかかる交通費、宿泊費以外の生活雑費や日本人研修員の研修開始地までの旅費は研修員の自己負担とします。
- （2）応募時に提出された個人情報、本事業以外の目的では使用しません。なお、事業実施中に撮影される各写真は、外務省等により行われる本事業の広報のために使用されることがあります。
- （3）応募書類は一切返却しません。
- （4）募集期間中に説明会を開催します。詳細はウェブサイトをご確認ください。
- （5）海外派遣中はUNV基準で保険に加入していただきますが、日本とは異なる条件下で生活するという自覚を研修員一人一人が持って行動していただきたく、不可抗力による万一の事態に対してHPC及びその他実施機関または関係機関は責任を負いかねますので、予めご承知をお願いします。なお、

治安状況によっては派遣を延期、または中止するということもあり得ます。また、派遣中に治安が悪化した場合は、現地の状況に応じて日本又は安全な第三国に避難していただくこともあり得ます。派遣中の安全管理は、原則として国連基準に拠って行われます。

- (6) 海外派遣に際し、扶養家族（配偶者や子女）を随伴することは原則、認めていません。この点は通常の UNV の規定とは異なりますのでご注意ください。

平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業

(外務省委託事業)

広島平和構築人材育成センター

Hiroshima Peacebuilders Center: HPC

<広島本部事務所>

〒730-0053 広島県広島市中区東千田町 1-1-61 ナレッジスクエア 1F

TEL: 082-909-2631 / FAX: 082-553-0910

Website: <https://peacebuilderscenter.jp/>

Email: (応募書類提出用) application@peacebuilders.jp

(問合せ用): hpc@peacebuilders.jp

広島平和構築人材育成センター（HPC）は、外務省の委託を受けて「平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業」国内研修を運営している一般社団法人です。

個人情報の取り扱いについて

一般社団法人広島平和構築人材育成センター（HPC）（以下、HPC という）は、個人情報保護の重要性を十分認識し、「個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）」をはじめとして関連する法令や、個人情報保護に関するガイドラインを遵守して、HPC 個人情報保護方針に基づき、応募者の個人情報を以下のようにお取り扱いし、保護に努めております。

▼個人情報の収集目的

HPC は、応募書類受領、問い合わせ対応、説明会の案内、説明会やセミナー時の応募受領、選考に伴う各機関や講師との情報共有、書類審査、研修期間前から終了時までにおける各機関や講師との情報共有、海外派遣中の参加者の現状把握、キャリア構築支援における研修修了生の現況フォローアップや相互ネットワークの構築、各研修の総括等、本事業の運営の目的で個人情報を収集しています。

▼個人情報の委託・提供

HPC は、収集させて頂いた個人情報を外務省及び国連ボランティア計画に提供することがあります。しかし、それ以外の組織と共有することはありません。HPC、外務省及び国連ボランティア計画においては、個人情報の管理、秘密保持、再提供の禁止など、個人情報の漏洩などがないよう適切な管理を実施します。外務省では、提供された個人情報を書類審査及びキャリア構築支援その他本事業の趣旨に沿った目的で利用する他、当該目的に沿って関係機関等及び令和 6 年度以降の事業実施団体等に提供する可能性があります。また、事業実施中に撮影される各写真は、外務省等により行われる本事業の広報のために使用されることがあります。国連ボランティア計画では、書類審査から派遣先ポスト決定までのプロセスにおいて使用いたします。

▼法令・規範の遵守と見直し

HPC は、保有する個人情報に関して適用される日本の法令、その他規範を遵守するとともに、本ポリシーの内容を適宜見直し、その改善に努めます。



<別紙 1-1>

プライマリー・コース

国内研修の概要

平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業「プライマリー・コース」の国内研修では、約5週間にわたり1日6時間程度の講義及びワークショップを通じて平和構築・開発を実践的に学びます。全体を通じて、研修員・講師間、及び研修員間の相互交流を重視し、問題解決型学習法を取り入れた参加型の研修を設定します。高いレベルでの平和構築・開発分野での活動への理解を目指した研修を行いつつ、グループ討議や作業を取り入れたワークショップを通じて、平和構築・開発の知識を応用する技能を取得し、発展させることを狙った研修を行います。

日本及び各国の研修員（日本人12名程度 外国人10名程度）を対象として、研修はすべて英語で行い、多国籍チーム作業を行いながら、平和構築・開発について学び合う環境を作ります。

広島平和構築人材育成センター（HPC）が実施する「プライマリー・コース」の国内研修では、本事業が平和構築・開発の実務家のための人材育成事業の中心となるコースであるという点を重視して、以下の3つの指針を運営上の柱として掲げています。

第1に、国内研修では実践的な知識・技能の付与を目指します。平和構築・開発の専門家を育成するという本事業の目的に照らして、研修においては平和構築・開発に関連する政策課題、および平和構築・開発に関連する実務に携わる場合に求められる技能を、実践的な内容の研修を通じて付与することを心がけます。なお、国際機関による平和構築・開発活動に関する基礎知識は、事前配布する教材で研修前にも補強しておいていただく予定です。

第2に、研修全体を「Competencies（業務能力）」の向上につながるように運営することを配慮しています。「Competencies」とは、国連・国際機関が人事を実施するにあたって重視する業務遂行上必要とされる能力のことを指します。たとえば多国籍チームの環境でリーダーシップを発揮する能力などを、国際機関は重視し、人事の際にもポイントとします。研修の中で、研修員が意識的に「Competencies」を伸ばしていくことができるような工夫を施します。

第3に、国内研修を、平和構築・開発分野の貴重な人的ネットワークを形成するための貴重な機会として捉え、ネットワーキングの促進を重視します。特に国内において平和構築・開発分野を目指す人々の業界（専門コミュニティ）が大きいとは言えない日本人にとっては、実務家層の講師陣、活躍する事業修了生、そして志を同じくする同期生とのつながりは、かけがえのない財産となります。

時間割 1) 9:30-11:00、2) 11:15-12:45、3) 14:15-15:45、4) 16:00-17:30		
日程・場所 (予定)	内 容 (予定)	講 師 (昨年度実績)
1月17日(火)	(外国人研修員の到着)	
1月18日(水) (東京)	開講式 全体ガイダンス 外務省表敬訪問 レセプション開催	Hideaki Shinoda, Michiru Tamanai, Yuji Uesugi,

1月19日(木) (東京)	自己紹介 チームビルディング	Hideaki Shinoda, Michiru Tamanai, Yuji Uesugi,
1月20日(金)	<静岡に移動> 陸上自衛隊駒門駐屯地訪問	Reo Iwamoto, Takuya Nishino, Takako Masuda
1月21日(土)	<東京→広島に移動>	
1月22日(日)	<i>Excursion to the Hiroshima Peace Memorial Park (Optional)</i> <i>Reconstruction of Japan and Hiroshima as the Cases of Post-conflict Peacebuilding</i>	Hideaki Shinoda
1月23日(月) 広島アステールプラザ	<Workshop 1: Analysis> Analysis for Political Affairs, Legal Affairs, and UN Country Team	Hideaki Shinoda, Michiru Tamanai, Yuji Uesugi, Desmond Molloy,
1月24日(火)	Practices of Country-specific Analysis	Kyoko Ono, Simonetta Rossi, Hiroto
1月25日(水)	Group Work on Problem Tree, Stakeholder	Fujiwara, Jomart Ormonbekov, Lisa
1月26日(木)	Analysis and Objective Analysis	Reefke
1月27日(金)		
1月28日(土)	<i>Excursion to Miyajima (Optional)</i>	
1月29日(日)		
1月30日(月)	<Workshop 2: Planning>	
1月31日(火)	Planning for UN Country Team	Hideaki Shinoda, Michiru Tamanai,
2月1日(水)	Planning for UN Peacekeeping Operations	Mikiko Tanaka, Yuji Uesugi,
2月2日(木)	DDR and Sexual and Gender-based Violence	Desmond Molloy, Sukehiro Hasegawa, Oumar Ba, Hiroko
2月3日(金)	Holistic Approach of Career Development Group Work on the Mission Planning Exercise	Hirahara, Maria Lopez Echevarria, Emma Birikorang, Michael Emery, Aiko Watanabe, Marie Oniwa
2月4日(土)	<i>Excursion to Kure and Etajima (Optional)</i>	
2月5日(日)		
2月6日(月)	<Workshop 3: Coordination> Coordination of UN Agencies	Hideaki Shinoda, Kenro Oshidari, Mikiko Tanaka, Chika Suefuji, Hiroko
2月7日(火)	Field experiences of Humanitarian Aid	Hirahara, Shigeki Komatsubara,
2月8日(水)	Recent Trends of Humanitarian Aid Civil-Military Coordination	Michiru Tamanai, Reo Iwamoto, Takako Masuda, Toshihiro Nakamura,
2月9日(木)	Sphere Project and Cluster Approach	Peter Kozelets, Mari Masuoka, Louise
2月10日(金)	Group Work on Communication, Presentation, Meeting, and Negotiation	Robinson, John Campbell, Guillaume Foliot, Yuji Uesugi, Desmond Molloy

2月10日(土)		
2月12日(日)		
2月13日(月)	<Workshop 4: Management>	Hideaki Shinoda, Shigeki
2月14日(火)	Problem Solving	Komatsubara, Toshihiro Nakamura,
2月15日(水)	Innovation	Mikiko Tanaka, Kenro Oshidari,
2月16日(木)	Project Management in the Field	Chika Suefuji, Michiru Tamanai,
2月17日(金)	Conflict Prevention/Peacebuilding	Reina Otsuka, Koji Kumamaru, Musa
	Result Based Monitoring and Evaluation	Ibrahim, Risa Fujimura, Hiroshi
	M&E	Kuwata, Eri Suzuki, Mamadou
	Group Work on Project Management	N'daw, Yuji Uesugi, Desmond Molloy
2月18日(土)	キャリア構築デザイン (日本人研修員のみ)	Chio Sato
2月19日(日)		
2月20日(月)	Personal Security	Hideaki Shinoda, Kenro Oshidari,
2月21日(火)	(Optional for Non-Japanese Program Associates)	John Campbell, Louise Robinson,
		Chika Suefuji, Shigeki Komatsubara
2月22日(水)	<広島から移動> 東京にて解散	

*COVID-19 の状況により、オンラインでの実施形態が導入される可能性があります。

*講師は諸事情等により、昨年度実績から変更が生じることがあります。

< List of JFY2021 Facilitators >

- Hideaki Shinoda (Director of HPC / Professor, Graduate School of Tokyo University of Foreign Studies)
- Yuji Uesugi (Course Mentor of HPC / Professor, Faculty of International Research and Education, Waseda University)
- Michiru Tamanai (Senior Advisor - Career Support & Development, Hiroshima Peacebuilders Center (HPC) commissioned by Ministry of Foreign Affairs of Japan, Tokyo, Japan / Former Chief of Human Resources, UNICEF India Country Office / Former HR Manager, New Talent Unit, UNICEF NYHQ / Lecturer, International Civil Servant Development Course, Sophia University, Tokyo, Japan)
- Desmond Molloy (Adjunct Professor, IR, Pannasastra University, Phnom Penh / Consultant CPCS, Siem Reap, Cambodia / Lecturer in Northern Studies, Politics, UiT, Alta, Norway / Political/Conflict Analyst)
- Kyoko Ono (Head of the OCHA in Rakhine State, Senior Humanitarian Affairs Officer, OFFICE OF THE COORDINATION FOR HUMANITARIAN AFFAIRS, Sittwe, Myanmar)
- Simonetta Rossi (Peace and Development Adviser, Office of the United Nations Resident Coordinator, Sierra Leone)
- Hiroto Fujiwara (Head, Country Analysis Unit, Division of External Operations, Registry, International Criminal Court (ICC))
- Jomart Ormonbekov (Political Affairs Officer, Office of the Under-Secretary-General for Political and

Peacebuilding Affairs/Department of Political and Peacebuilding Affairs (DPPA), United Nations)

- Lisa Reefke (Senior Political Affairs Officer/Deputy Chief, Political Affairs Service, United Nations Assistance Mission in Afghanistan (UNAMA))
- Sukehiro Hasegawa (President, Global Peacebuilding Association of Japan / Former Special Representative of the UN Secretary-General for Timor-Leste / Member, International Advisory Board of CCCPA, Executive Director for Academic Exchange and Cooperation, UNAJ / Member of the Board of Directions of the Japan Committee of the Earth Charter Commission / Head of ACUNS Liaison Office in Tokyo/ Director of Kyoto Peacebuilding Center)
- Oumar Ba (Former Gao Head of Regional Office, United Nations Multidimensional Integrated Stabilization Mission in Mali [MINUSMA])
- Hiroko Hirahara (Head of Field Office, Bentiu Field Office, United Nations Mission in the Republic of South Sudan [UNMISS])
- Maria Lopez Echevarria (Recovery, Return and Reintegration Officer, Relief, Reintegration and Protection Section, United Nations Mission in South Sudan [UNMISS])
- Emma Birikorang (Deputy Director, Faculty of Academic Affairs and Research, Kofi Annan International Peacekeeping Training Centre)
- Kenro Oshidari (Former Regional Director WFP Regional Bureau for Asia Bangkok Thailand /Guest Lecturer – Sophia University • Waseda University / Managing Director – Association for Aid and Relief (Japanese International NGO) / Director, Board of Directors – Japan Association for the World Food Programme)
- John Campbell (Security Consultant. Former UNHCR Regional Safety Advisor Asia-Pacific and eCentre Coordinator)
- Louise Robinson (Senior Humanitarian Advisor and Security Training Specialist –Director of InSiTu Training)
- Guillaume Foliot (Consultant and Trainer on Disaster Risk Management and Emergency Response)
- Peter Kozelets (Senior Protection Officer, UNHCR, Juba, South Sudan)
- Chika Suefuji (Former project coordinator at Médecins Sans Frontières / Doctor without Border)
- Toshihiro Nakamura (Co-Founder & CEO, NPO Kopernik/Guest Professor, Design for the study of co-design, Osaka University)
- Shigeki Komatsubara (UNDP Resident Representative, Malaw)
- Mamadou N'Daw (Deputy Resident Representative Programme ai (P5), United Nations Development Programme)
- Chio Sato (Head, Office CLUTCH)
- Mikiko Tanaka (Former UN Resident Coordinator in Guyana)
- Reo Iwamoto (Researcher, International Peace Cooperation Activities Training Unit, Ground Component Command, JGSDF)
- Takuya Nishino (Evaluation Officer, International Peace Cooperation Activities Training Unit, Ground Component Command, JGSDF)
- Takako Masuda (Security Sergeant, International Peace Cooperation Activities Training Unit, Ground

Component Command, JGSDF)

- Musa Ibrahim (Policy Specialist and OIC - Conflict Prevention and Peacebuilding, Conflict Prevention, Peacebuilding and Responsive Institutions, Crisis Bureau, UNDP)
- Mari Masuoka (United Nations World Food Programme, Kabul, Afghanistan, Supply Chain Officer (Operations))
- Aiko Watanabe (Programme Management Officer, UN Secretariat, New York)
- Michael Emery (the Director of Human Resources at the International Organization for Migration, the UN Migration Agency)
- Eri Suzuki (Child Protection Specialist, UNICEF Regional Office for Eastern and Southern Africa, Nairobi, Kenya)
- Marie Oniwa (Reintegration Specialist, UNDP South Sudan, in support of the Revitalized Agreement on the Resolution of the Conflict of South Sudan (R-ARCSS) peace agreement (DDR))
- Reina Otsuka (Digital Innovation Specialist, UNDP HQ in NY)
- Koji Kumamaru (Project Manager, GCF Water Security Project, UNDP Marshall Islands)
- Risa Fujimura (M&E and Program Specialist, Joint UNDP-DPPA Programme on Building National Capacity for Conflict Prevention, in NY)
- Hiroshi Kuwata (Project Coordination Specialist, Crisis Bureau, Country Support Management Team, UNDP HQ in NY)



<別紙 1-2 / Annex 1-2>

Primary Course

Summary of Overseas Assignment (UN Volunteer assignment)

Overseas assignment of the Program for Global Human Resource Development for Peacebuilding and Development (Global Peacebuilders Program) is administered by the United Nations Volunteers (UNV) Programme. Program Associates will be deployed to UN partner agencies as UN Volunteers for the duration of one year to work in the field of peacebuilding and development. While the deployment process including the identification of assignments, recruitment, pre-departure arrangements, volunteer management during the assignment and repatriation is administered in accordance with UNV rules and regulations, the following unique process is adopted as part of UN Volunteer assignment component of the Program.

Overseas assignment through UN Volunteer assignment

Although UN Volunteer assignments will enhance knowledge and professional skills of the Program Associates, the UN Volunteer assignment itself is not a training. Each Program Associate is therefore expected to contribute to peacebuilding through his/her own expertise as a professional in the form of volunteering. Hosting UN entities expect the Program Associates to perform their assigned duties in a professional manner.

UN Volunteers are deployed to directly work with UN agencies to support vulnerable population including refugees, women, children and people in conflict areas. Activities include support to socially excluded groups to participate in the peacebuilding and development planning process, protection and assistance to people exposed to risks, and the strengthening of public administrative capacity to meet the basic needs of vulnerable groups. With the basic principle of contributing to peacebuilding, peacekeeping and development through the promotion of volunteerism, UN Volunteer assignments support areas including the following (list is not exhaustive):

- Humanitarian assistance and strengthening of basic services to vulnerable groups
- Crisis prevention and recovery
- UN peacekeeping missions
- Capacity development of public institutions
- Environment and climate change

Sample of assignments

Crisis prevention and reconstruction

- Prevention of violent conflict, national capacity development for reconstruction
- Capacity development of community members in negotiation and mediation
- Promotion of community members' participation to communication campaign for peace
- Community security, promotion and monitoring of human rights and rule of law

Humanitarian assistance and strengthening of basic services to vulnerable groups

- Protection and promotion of human rights for refugees and victims of conflicts and sexual violence
- Support to social reintegration of former combatants, displaced persons and vulnerable groups

- Youth leadership in communities, participation in decision-making, conflict resolution and social development

UN peacekeeping missions

- Support to mission activities in key areas (protection, rule of law, security sector reform, civil affairs, DDR, natural resource management, etc)

UN Volunteer assignments are selected through collaboration between UNV, Ministry of Foreign Affairs of Japan (MOFA) and **Hiroshima Peacebuilders Center (HPC)** based on the needs of UN partner agencies in the field including UNDP, UNHCR, UNICEF, WFP, IOM, and UNPKOs.

Assignments are approved based on the following factors:

- International cooperation policy of the Government of Japan and UNV's strategic priority areas
- Security of Program Associates in deployed duty stations based on the security standard of the Government of Japan
- Supervision and support structure at Host Entities
- Distribution of volunteers by UN Entities and region/country

Selection of assignments and matching process

- Potential assignments are selected and approved in advance to the selection of shortlisted candidates.
- A list of potential assignments is shared with shortlisted candidates that pass the written assessment, so that they can check availability of assignments of their interest.
- In late-October, briefing by Japan offices of UN Agencies are planned for selected Program Associates.
- After this, Program Associates can apply to assignments. Program Associates may consult with HPC or Japan offices of UN Agencies as needed (In case a Program Associate wishes to contact an agency which does not have a Japan office or one, of which Japan office is not in the position to provide consultation services, an appropriate focal point of the agency will be identified through necessary coordination. Program Associates can make inquiries on such focal points of potential Host Agencies). However, it must be refrained that Program Associates contact directly the Host Entities (offices which Program Associates might be assigned to) for which the Program Associates are interested.
- UNV will ensure that designated Program Associates' profiles match with requirements of the assignment, and in case the assignment does not match, would propose an alternative with a better match.
- UN Host Entities will confirm the selection of Program Associates through interview (or desk review as an option). If more than one Program Associate opt for the same assignment, selection will be a competitive process. Matching will be completed upon positive interview results and acceptance by Host Entity as well as confirmation of the Program Associate's medical condition.
- If the process is unsuccessful, Program Associate will apply for another post, and repeat the process.
- In principle, assignments selected for the Program are shown for the Program only. However, in the case of assignments with UN peacekeeping missions, the selection of Program Associates

will be conducted as per the regular processes for UN Volunteers including candidates other than Program Associates.

Deployment period of overseas assignment

The deployment is expected following the completion of coursework in Japan after March. The actual date of deployment may vary by assignment depending on status of matching, intentions of Host Entities, and processes for predeparture preparations.

Status of Program Associates during overseas assignment

- Program Associates will carry out assignment as international UN Volunteers. International UN Volunteers are not UN staff members and are administered based on the Condition of Service. Condition of Service:
https://www.unv.org/sites/default/files/unvpf/UNVcos2021%20Complete%20hi-res-final_compressed_30.08.2021.pdf
- International UN Volunteers are provided with travel entitlement for assignment and repatriation, assignment grant, volunteer living allowance including accommodation supplement in some locations, insurance and resettlement allowance.
- The UNV Onboarding Portal provides information and guidance for candidates on the preparation for the assignment. UNV Onboarding Portal: <https://www.unv.org/become-volunteer/onboarding>
- We invite interested candidates to refer to the webpage with Information for UN Volunteers, selected candidates and host entity partners related to UNV's COVID-19 Response. Information for UN Volunteers: <https://www.unv.org/COVID-19>
- Assignments under the HRD Program are considered as assignments without family, as per the policy of the Government of Japan for this Program. Even if the UN Volunteer is located at a designated Family Duty Station, any potential travel of dependents would be considered as private, i.e. UNV will not support the travel and the costs will not be covered by the donor organization. The UN Volunteers can only bring their dependents, in accordance with the UNV Conditions of Service, at their own costs and responsibility.



平和構築・開発における
グローバル人材育成事業
Primary Course JFY2022
APPLICATION FORM

Please attach
your PHOTO
(taken within
last 1 year)

INSTRUCTIONS: Please answer each question clearly and completely.
Type or print in ink. Write in English. Read carefully and follow all directions.

1. Name			
Family / Last name	Given / First name	if any, Middle name and/or Maiden name	
Is the above name exactly as it is in your passport and other legal documents? YES ☐ NO ☐			
2. Date of Birth (DD/MM/YYYY)	3. Sex Male ☐ Female ☐ Other ☐	4. Present nationality(ies)	5. Marital status Single ☐ Married ☐
6. Present title Organization			
7. Office address			
Telephone number: _____ E-mail: _____			
Any objections to HPC contacting you at office? YES ☐ NO ☐			
8. Permanent address			
Telephone number: _____			
9. Present address (if different from item 8)			
Telephone number: _____ E-mail: _____			
10. What is the specific reason for which you wish to participate in the Primary Course?			
11. What do you most strongly expect to gain from the Primary Course?			
12. Preferred field of work			
A. What is your area of expertise?			
B. What kind of expertise do you wish to develop in the future, if any?			
C. What is the agency(ies)/sector for which you wish to work in the future, if any?			

D. Preference(s) of agency and field of work for the Overseas Assignment

(This section is for reference use only)

Name of agency	Your previous experience or connection with the agency, if any

13. Knowledge of languages

What is your mother tongue? _____

Other languages	Exam Scores (Indicate exam types)	READ		WRITE		SPEAK		UNDERSTAND	
		Easily	Not easily	Easily	Not easily	Easily	Not easily	Easily	Not easily

14. Education**A. University or equivalent**

Name, Place and Country	Attended from/to		Degrees and academic distinctions obtained	Main course of study
	MM/YYYY	MM/YYYY		

B. Schools or other formal training or education from age 14 (e.g. high school, technical school or apprenticeship)

Name, Place and Country	Type	Attended from/to		Certificates or diplomas obtained
		MM/YYYY	MM/YYYY	

15. List professional societies and activities in civic, public or international affairs.**16. List any significant publications you have written (do not attach).**

17. Employment: Starting with your present post, list in reverse order every employment you have had. Use a separate block for each post. Include also service in the armed forces and note any period during which you were not paid. If you need more space, attach additional pages of the same size. In case of a post at an international organization, provide information regarding employment status such as regular staff(national/international), consultant, volunteer, intern, UN Volunteer, Junior Professional Officer.

A. Present post (Last post, if not presently in employment)

From MM/YYYY	To MM/YYYY	Exact title of your post (incl. Employment status)	Type of business
Name of employer		Name of supervisor	
Address of employer		Number and kind of employees supervised by you	Reason for leaving
Description of your duties			
B. Previous posts (in reverse order)			
From MM/YYYY	To MM/YYYY	Exact title of your post (incl. Employment status)	Type of business
Name of employer		Name of supervisor	
Address of employer		Number and kind of employees supervised by you	Reason for leaving
Description of your duties			
From MM/YYYY	To MM/YYYY	Exact title of your post (incl. Employment status)	Type of business
Name of employer		Name of supervisor	
Address of employer		Number and kind of employees supervised by you	Reason for leaving
Description of your duties			
From MM/YYYY	To MM/YYYY	Exact title of your post (incl. Employment status)	Type of business
Name of employer		Name of supervisor	
Address of employer		Number and kind of employees supervised by you	Reason for leaving
Description of your duties			
From MM/YYYY	To MM/YYYY	Exact title of your post (incl. Employment status)	Type of business
Name of employer		Name of supervisor	

Address of employer	Number and kind of employees supervised by you	Reason for leaving
Description of your duties		
18. References: List three persons who are familiar with your character and qualifications. Reference check form will be sent to all applicant's referees before the interview.		
Full name	Business or occupation	Contact information (email address and telephone number)
19. State any other relevant facts, including information regarding any residence outside the country of your nationality.		
20. Have you ever been arrested, indicted, or summoned into court as a defendant in a criminal proceeding, or convicted, fined or imprisoned for the violation of any law (excluding minor traffic violations)? If "yes", give full particulars of each case in an attached statement. YES ☐ NO ☐		
21. How did you learn of this year's call for applications for the Primary Course? Please check all that apply. (This section is for reference use only) ☐ Word of mouth ☐ HPC Facebook ☐ HPC Twitter ☐ HPC website/mailling list ☐ MOFA website/mailling list ☐ Advertisements in journals/newspapers ☐ UN Forum mailing list ☐ Other (please specify) _____		
22. I certify that the statements made by me in answer to the foregoing questions are true, complete and correct to the best of my knowledge and belief. Date: _____ Name: _____		
N.B. You may be requested to supply documentary evidence which supports the statements you have made above. Do not, however, send any documentary evidence until you are asked to do so and, in any event, do not submit the original texts of references or testimonials unless they are required for the sole use of this application.		

<別紙 1-4>

誓 約 書

(プライマリー・コース参加者用)

外務省総合外交政策局国際平和・安全保障協力室長 殿

一般社団法人広島平和構築人材育成センター代表理事 殿

私は、平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業に参加するに当たって、国内研修及び海外派遣（以下、「研修」とする）を修了した後は、国際機関における正規のポストの獲得を含め、平和構築・開発支援分野の実務に従事するために最大限の努力を払うことを、誓約いたします。また、募集要項の内容を理解し、さらに下記事項を遵守いたします。

記

1. 研修中は所定の研修等に従事し、研修目的の達成に努めると共に、広島平和構築人材育成センター（以下、「HPC」という）及びその他実施機関の関係者をはじめとして、講師や派遣先機関の指導員等、指導する者の指示等に従うこと。
2. 国内研修の大部分及び海外派遣にかかる費用は日本政府が負担していることを理解するとともに、国内研修及び海外派遣の任期を全うすること。
3. 安全を最優先に活動し、日本および派遣先国の法令、HPC 及びその他実施機関が定める規則、研修を実施する諸機関等の安全基準・行動基準等を遵守すること。
4. 現地情勢等により、外務省が、海外派遣を中断、終了を含む措置をとる旨判断する場合には、これに関する指示に従うこと。
5. 海外派遣期間中は、外務省が定める様式・頻度において、各種報告書等を提出すること。
6. HPC 及びその他実施機関の承認を得ずに研修を中止または休止した場合、その他正当な理由なく上記遵守事項に違反したときは、右記機関の指示に従い、既に受けた研修の費用の全額、または一部を返金すること。
7. 研修期間中に故意または過失によって HPC 及びその他実施機関または第三者に損害を与えた場合は、研修員の加入する保険により補償することとし、保険で補償されないものに関しては、自らの責任において対処すること。
8. 研修期間中に天災・人災・事故・疾病・犯罪等による損害を受けた場合および自己の健康上の理由による費用負担が発生した場合には、研修員の加入する保険により補償することとし、いかなる請求も HPC 及びその他実施機関または関係機関に対して行わないこと。
9. 平和構築・開発におけるグローバル人材育成事業研修員（Program Associate）としての資格を利用して、政治、布教、私利に関する一切の活動を行わないこと。
10. この誓約に違反し、その他不正な行為があったとき、研修の中止を含む措置については外務省及び HPC またはその他実施機関の決定に従うこと。
11. 研修の参加に際して撮影された写真等が事業の広報等のために使用されることに同意する。

令和 年 月 日

氏名（自署）

㊟ （省略可）

外務省委託

平和構築・開発における
グローバル人材育成事業

Global Peacebuilders Program

(Commissioned by the Ministry of Foreign Affairs of Japan (MOFA))

The Mid-Career Course JFY2022

Application Guidelines

The “Mid-Career Course” which is part of the Program for Global Human Resource Development for Peacebuilding and Development (Global Peacebuilders Program), is calling for 20 participants with about 10 years of work experience in fields related to peacebuilding and development (see below “6. Qualifications”) who aspire to further advance their professional careers in these fields through international organizations. The participants will take part in 7 days of training in Japan to enhance their knowledge and skills, focusing on Communication/Negotiation and Leadership/Management competencies in international organizations.

1. Duration

January 5 (Thu) – 11 (Wed), 2023

2. Program Structure

Training is focused on Communication/Negotiation and Leadership/Management competencies in peacebuilding and development, in particular with regard to the United Nations (UN) system and other international organizations. (See *Attachment 2-1*, Course Overview for details) The training will be conducted entirely in English.

3. Venue

Hotel in Tokyo

4. Accommodation (International Participants only)

Hotel in Tokyo

5. Participation Fees

There will be no fees charged for the selected participants

6. Qualifications

- (1) About ten years of work experience in fields related to peacebuilding and/or development (e.g. administration, aviation, civil affairs, communications, economics, engineering, finance, human resources, humanitarian aid, IT, law, political affairs, procurement, public health, security, supply chain management and environment).
- (2) Determination to further one's career in peacebuilding and development, in particular at the UN and other international organizations.
- (3) Fluency in spoken and written English.
- (4) Full attendance at the training.

7. Number of Participants to Be Admitted

20 Participants (Japanese and other nationals)

8. Required DocumentsApplication Form (*Attachment 2-2*)

*You may substitute “10. Employment” with the P11 UN Personal History Form or an equivalent form of CV.

9. Submission of the Application

Send the completed application form by e-mail to: application@peacebuilders.jp

10. Application Deadline

October 7 (Fri.), 2022 (9:00 AM Japan Time)

11. Selection Process

Your application will be evaluated and considered in terms of 1) experience and skills in the relevant fields, and 2) the potential for career advancement in peacebuilding and development. The applicants will be notified by email by early November, regardless of the results.

12. General Inquiries on the Contents of the Program

Hiroshima Peacebuilders Center (HPC)

Knowledge Square 1st Floor, 1-1-61, Higashisendamachi, Naka-ku, Hiroshima, 730-0053 JAPAN

TEL: +81-(0)82-909-2631 / FAX: +81-(0)82-553-0910

Email: hpc@peacebuilders.jp (Inquiries)

application@peacebuilders.jp (Submission of documents)

Website: <https://eng.peacebuilderscenter.jp/>

13. Obligations of the Participants

- (1) Participants are expected to engage in the program with utmost diligence.
- (2) Participants are expected to submit a final report and provide input towards improving the program.
- (3) Participants are expected to reply to follow-up inquiries made regularly by MOFA about their latest status after completion of the program.

14. Post-Program Support

Participants are expected to engage in and cooperate with alumni networking.

15. Important notes with regard to COVID-19

(1) Coordination for selected participants entering Japan for participation in the Course

HPC will assist selected participants in entering Japan according to the Japanese government's policies in response to COVID-19 (under the Japanese government's current border control measures, those entering or returning to Japan are required to quarantine at home/accommodations for up to 7 days, depending on the situation of COVID-19 infection in their countries of residence/departure and their statuses of vaccination against COVID-19).

(2) Prevention Measures Against COVID-19 in the Administration of the Course

Depending on the coronavirus situation in the future, appropriate measures against the virus will be conducted, as far as possible, during the implementation of the course. The contents and schedule may also change due to the prevailing situation. (Additional information regarding the course may be released before the deadline of the applications. In order to ensure access to this information, please sign up to the HPC newsletter in advance. *HPC Newsletter: <https://eng.peacebuilderscenter.jp/contact/email-newsletter/>)

- (a) Modalities of participation in the Course – if a participant cannot attend the training physically due to unavoidable circumstances, HPC will endeavor to enable participation by other means, e.g. virtual participation. Access to the Course by the participants who do not feel well may be limited.
- (b) Environment of the venue – HPC endeavors to avoid the “3 Cs” (Closed spaces, Crowded places, Close-contact settings), and to maintain the environment of the venue based on the “New Lifestyle” guidelines. (Please see: <https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000619576.pdf>)
- (c) Request for cooperation – to prevent future infections, HPC requests participants to take appropriate infection control measures such as hand washing and by following ‘cough etiquette.’ (Please see: <https://corona.go.jp/prevention/pdf/en.kansen.pdf>)

16. Notes

- (1) The information in the required documents for the application will be used only for the selection and admission of participants to the program. Please note that photos taken during the course of the program

- may be used by MOFA and related organizations for the purpose of promoting the program.
- (2) Submitted documents will not be returned.
- (3) Updated information on the program will be available on the HPC website.

The Program for Global Human Resource Development for Peacebuilding and Development

(Commissioned by the Ministry of Foreign Affairs of Japan)

Hiroshima Peacebuilders Center (HPC)

<Hiroshima Head Office>

Knowledge Square 1st Floor, 1-1-61, Higashisendamachi, Naka-ku, Hiroshima, 730-0053 JAPAN

TEL: +81-(0)82-909-2631 / FAX: +81-(0)82-553-0910

Email: hpc@peacebuilders.jp (Inquiries)

: application@peacebuilders.jp (Submission of documents)

Website: <https://eng.peacebuilderscenter.jp/>

The Hiroshima Peacebuilders Center (HPC) is the implementing body of
“The Program for Global Human Resource Development for Peacebuilding and Development”
commissioned by the Ministry of Foreign Affairs of Japan.

Privacy Policy

The Hiroshima Peacebuilders Center (HPC) complies with the following privacy policy and other laws and regulations regarding the protection of personal information and ensures that care is taken to protect personal information.

▼HPC collects and uses personal information for work related to the program implementation, such as answers to inquiries, the processing of applications for training courses, information dissemination sessions, discussions and networking before and after training courses. Information sharing with organizations and lecturers before and after the period of the training will remain private.

▼HPC and the Ministry of Foreign Affairs will use personal information submitted from applicants only for the purpose of this Program. All personal information will be managed with strict confidentiality. The Ministry of Foreign Affairs may use personal information for career development support and share it with relevant institutions, including the organization which will be responsible for the program from Japanese fiscal year 2024. Photographs taken during the Program will be managed appropriately and may be used for public relations.

▼HPC is committed to comply with all the rules and regulations stipulated in the Personal Information Protection Act of Japan and other laws concerning the protection of personal information.

<Attachment 2-1>
Course Overview

Mid-Career Course JFY2022

The Mid-Career Course targets those who have about 10 years of work experience in fields related to peacebuilding and development¹, aims to enhance their skills and knowledge on communication/negotiation and leadership/management, and provides an opportunity to develop networks with expert practitioners.

In particular, this Course is designed for those who are determined to utilize their accumulated experience to further their careers in peacebuilding and development, in particular at the United Nations and other international organizations. Work experience in international organizations is not a strong prerequisite for participation in the Course, but a good understanding of such organizations is expected. The Course welcomes applicants from international organizations and diverse backgrounds, including private business and NGOs/NPOs.

The 7-day training course aims to achieve these objectives through interactive discussions and role-play exercises led by experienced facilitators working on the front lines of peacebuilding and development at the UN and other international organizations. Along with strengthening the comprehensive adaptability required to overcome challenges such as changes in positions within organizations and increasingly complex responsibilities, the Course also aims to provide feedback from facilitators to each participant on his/her performance. In addition, it offers the participants ample opportunity to develop the networks invaluable for advancing their careers through individual meetings with facilitators, and informal networking events.

The Course will take place in Tokyo. It will be conducted in English and is open to nationals of any country. Please find the curriculum in the next section. The schedule is tentative and facilitators may change accordingly.

Curriculum (As of April 20, 2022, subject to change)

Date & Venue	Agenda	Facilitators (Facilitators of JFY2021 Mid-Career Course)
Session 1 (9:30 – 11:00), Session 2 (11:15 – 12:45), Session 3 (14:15 – 15:45), Session 4 (16:00 – 17:30)		
Basic Points for Leadership and Communication Competencies [1st Stage Training]		
Day 1 January 5 (Thu), 2023 Hotel in Tokyo	<Overview of Leadership and Communication Competencies> Session 1: Introduction [with self-introduction] Session 2: Overall Structure of the Course and Key Concepts Session 3: Leadership and Communication as Competencies Session 4: Group Discussion (to share experiences and views) [Contents] Self-introduction followed by an introduction to the overall structure of the course. Provide a session for advanced understanding of	Hideaki Shinoda Yuji Uesugi Kenro Oshidari Michiru Tamanai Mikiko Tanaka <i>(throughout the entire course)</i>

¹ Relevant fields include the following: administration, aviation, civil affairs, communications, economics, engineering, finance, human resources, humanitarian aid, IT, law, political affairs, procurement, public health, security, supply chain management and environment.

	UN-oriented competencies.	
<u>Day 2</u> January 6 (Fri)	< Essential Points for Communication Skills > Session 1: Basic models of Advanced Communication Session 2: Team-oriented Effective Messaging Session 3: Communication with External Messaging Session 4: Public Presentation, including when challenged [Contents] Provide critical models of fundamental communication skills as well as tips for intra-team messaging, handling external stakeholders, and making public speeches.	Rob Brennan
<u>Day 3</u> January 7 (Sat)	< Application of Communication Skills > Session 1: Communication skills: Re-cap and Additional Points Session 2: (Preparation for) the Press Conference Exercise I Session 3: Press Conference Exercise II Session 4: Press Conference Exercise III [Contents] Re-cap fundamental communication skills and discuss some more observations followed by plenary discussions. The Press Conference Exercise to apply communication skills.	
Leadership and Communication Competencies in International Organizations [2nd Stage Training]		
<u>Day 4</u> January 8 (Sun)	< Sharing Leadership Challenges at UN > Session 1: Leadership required for Senior UN Leaders I Session 2: Leadership required for Senior UN Leaders II Session 3: Leadership required for Senior UN Leaders III Session 4: Leadership expected at the UN Headquarters [Contents] Sessions offering presentations on facilitators' views regarding leadership skills required for senior UN leaders.	Ameerah Haq Siddharth – Chatterjee Kersten Jauer
<u>Day 5</u> January 9 (Mon)	< Coping with Leadership Challenges at the UN > Session 1: Leadership Challenges in the Field I Session 2: Leadership Challenges in the Field II Session 3: Presentations by Representative Participants on their Challenges regarding Leadership Session 4: Group Discussion (how to overcome leadership challenges) [Contents] Sessions offering presentations by facilitators' regarding views on leadership skills required for senior UN leaders. Presentations offering experiences regarding leadership challenges, followed by group discussions.	Oumar Ba Sukehiro Hasegawa
<u>Day 6</u> January 10 (Tue)	< Enhancing Leadership Competencies > Session 1: Leadership Challenges during the Pandemic I Session 2: Lessons regarding the Importance of Leadership Session 3: Negotiation Exercise I Session 4: Negotiation Exercise II	

	[Contents] Discussions to present challenges regarding leadership, and lessons for UN leaders. Group discussions to explore ways to cope with such a situation. A simulated exercise encouraging to demonstrate leadership through negotiations.	
<u>Day 7</u> January 11 (Wed)	< Overall Review of Leadership and Communication > Session 1: Leadership Challenges during the Pandemic II Session 2: Leadership through Consultation Session 3: Competency-based Interview Session 4: Final Review Session [Contents] Discussions on how to overcome the challenges faced during the pandemic, followed by exercises in the form of communication-oriented CBIs. Final review session to discuss prospects for the future.	

* The contents and facilitators may change according to circumstances

* Depending on the situation of COVID-19, the course may be delivered online

<Facilitators for JFY2021 Mid-Career Course>

- Hideaki Shinoda (Director of HPC / Professor Graduate School of Tokyo University of Foreign Studies)
- Yuji Uesugi (Course Mentor of HPC / Professor Faculty of International Research and Education Waseda University)
- Kenro Oshidari (Former Regional Director WFP Regional Bureau for Asia Bangkok Thailand/Guest Lectuer – Sophia University • Waseda University, Managing Director-AAR-Association for Aid and Relief – (Japanese International NGO), Director, Borad of Directors-Japan Association for the World Food Programme)
- Michiru Tamanai (Managing Director Lotus Insight Global Pte. Ltd. Singapore [HR Consulting Firm] HPC Senior Advisor Career Support & Development)
- Mikiko Tanaka (Former UN Resident Coordinator in Guyana)
- Rob Brennan (Senior Facilitator of Institute for Communication, Management and Leadership [ICML])
- Ameerah Haq (Chair of the Global Board of BRAC; Former Under-Secretary-General [USG] for the Department of Field Support; Former Special Representative of the Secretary-General [SRSG] for Timor-Leste and Head of the United Nations Integrated Mission in Timor-Leste [UNMIT])
- Siddharth Chatterjee (United Nations Resident Coordinator in China)
- Kersten Jauer (Senior Planning Officer, Executive Office of the United Nations Secretary-General)
- Oumar Ba (Former Gao Head of Regional Office United Nations Multidimensional Integrated Stabilization Mission in Mali [MINUSMA])
- Sukehiro Hasegawa (President, Global Peacebuilding Association of Japan / Former Special Representative of the UN Secretary-General for Timor-Leste / Head of UNMISSET UNOTIL and UNMIT / Member, International Advisory Board of CCCPA / Executive Director for Academic Exchange and Cooperation, UNAJ / Member of the Board of Directions of the Japan Committee of the Earth Charter Commission / Head of ACUNS Liaison Office in Tokyo/Director of Kyoto Peacebuilding Center)



平和構築・開発における
グローバル人材育成事業

Global Peacebuilders Program

Mid-Career Course JFY2022

APPLICATION FORM

INSTRUCTIONS: Please answer each question clearly and completely.

Type or print in ink. Write in English. Read carefully and follow all directions.

1. Name									
Family / Last name			Given / First name			if any, Middle name and/or Maiden name			
2. Date of Birth (Day/Month/Year)			3. Sex Male ☐ Female ☐ Other ☐			4. Nationality(ies)			
5. Present title			Organization						
6. Office address									
Telephone number: _____ E-mail: _____									
Any objections to HPC contacting you at office? YES ☐ NO ☐									
7. Present address									
Telephone number: _____ E-mail: _____									
8. Knowledge of languages									
languages	Exam Scores (Indicate exam types)	READ		WRITE		SPEAK		UNDERSTAND	
		Easily	Not easily	Easily	Not easily	Easily	Not easily	Easily	Not easily
9. Education									
A. University or equivalent									
Name, Place and Country	Attended from/to		Degrees and academic distinctions obtained	Main course of study					
	MM/YYYY	MM/YYYY							

B. Other formal training or education				
Name, Place and Country	Type	Attended from/to		Certificates or diplomas obtained
		MM/YYYY	MM/YYYY	

10. Employment: Starting with your present post, list in reverse order every employment you have had. Use a separate block for each post. Include also service in the armed forces and note any period during which you were not gainfully employed. **If you need more space, attach additional pages of the same size.** (You may substitute this section with the P11 UN Personal History Form or an equivalent form of CV.)

A. Present post (Last post, if not presently in employment)

From	To	Exact title of your post (if UN, indicate P-level)	Type of business
Month/Year	Month/Year		
Name of employer		Name of supervisor	
Address of employer		Number and kind of employees supervised by you	Reason for leaving
Description of your duties			

B. Previous posts (in reverse order)

From	To	Exact title of your post (if UN, indicate P-level)	Type of business
Month/Year	Month/Year		
Name of employer		Name of supervisor	
Address of employer		Number and kind of employees supervised by you	Reason for leaving
Description of your duties			

From	To	Exact title of your post (if UN, indicate P-level)	Type of business
Month/Year	Month/Year		

Name of employer		Name of supervisor	
Address of employer		Number and kind of employees supervised by you	Reason for leaving
Description of your duties			
11. Areas of expertise			
12. How did you learn of this year's call for applications for the Mid-Career Course? Please check all that apply. (This section is for reference use only) ☐ Word of mouth ☐ HPC Facebook ☐ HPC Twitter ☐ HPC website/mailling list ☐ MOFA website/mailling list ☐ UN Forum mailing list ☐ Other (please specify) _____			
13. State reasons and expectations for which you wish to participate in the Mid-Career Course and how you can contribute to the Course (Approximately 350 words). 			
14. Once you join the course, you will become the member of a Community of Practice in the Program for Global Human Resource Development for Peacebuilding and Development. Are you willing to reply to regular inquiries about your job status and career development after the course? Such inquiries will be annually conducted in order to improve and develop the program including services for course gradutates. YES ☐ NO ☐			
15. I certify that the statements made by me in answer to the foregoing questions are true, complete and correct to the best of my knowledge and belief. Date: _____ Name: _____			
N.B. You may be requested to supply documentary evidence which supports the statements you have made above. Do not, however, send any documentary evidence until you are asked to do so and, in any event, do not submit the original texts of references or testimonials unless they are required for the sole use of this application.			